



「あなたがたの救い主」

ルカ福音書二二：8～21

牧師 安藤 脩

クリスマスイヴ礼拝は、御言葉と讃美と光の満ちた礼拝です。光が闇の中に輝いています。この礼拝は光と表現される神の御子の出現を祝うものです。光は人間の目に見える最初のもので、全ての被造物の根源です。光がなければ命は生まれません。植物も育ちません。でも、命を生み出し、育んでゆくこの光を創造されたお方が、私たちの主なる神です。その主なる神の霊を直接吹き込まれた人間私たちは何と素晴らしい存在でしょう。光が内にあるのですから。神との交わりがあるなら、命が、希望が輝きます。

しかし、人間が内なる霊を無視したとき、心は闇となり、罪が支配しました。そのような闇となっている世界で、最初に、光なる神の子・救い主の出現に気付いたのは、東の国の博士たちでした。彼らは星に導かれエルサレムに來たのですが、でもそれより先に、救い主を見たのは羊

2017年冬号
日本キリスト教団
横浜岡村教会
〒235-0021
横浜市磯子区
岡村 4-25-39
Tel.045(751)3917
牧師
安藤 脩

飼いたちでした。彼らは、闇が勢力を持つ世界で、虐げられ、蔑視され、世の片隅に追いやられていた人々でした。しかし、そのような中で自然と交わり、空を見、星の光の下で生活していた彼らには、神への純粹な信仰があったのでしよう。

この救い主の誕生は「民全体に与えられる」ものです。イスラエルの民だけでなく、「あなたは：祝福の源となるように。：地上の氏族はすべて、あなたによって祝福に入る。」(創世記一二：2～3)とアブラハムに約束されたように。また、「神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。」(「テモテ二：4」とあるとおり、全人類の救いです。神は、人間が神に立ち返ることを願っておられます。そのため、「あなたがたの救い主」として、御子は人間の姿で、この世において下さったのです。

御子を受け入れようとしないうこの世は益々、暗くなつて行くことでしょう。今、

世界はそのような状態を表しています。自分中心に考え、行動する者が力を得、勢力を強めています。かつて、日本帝国が国粹主義に陥ったように、いま又、キリストの救いと愛を、多くの人が知っていないはずのEU圏もアメリカも国粹主義が勢力を強めており、それは益々、広がる傾向にあります。しかし、失望してはなりません。闇が濃くなった時こそ、真の光なる救い主がおいでになるのです。今度は、救い主としてではなく、裁き主としておいでになるのです。

天使が「いと高き所には栄光、神にあり、地には平和、御心に適う人にあれ。」(：14)と讃美したように、神の栄光は永遠に変わることなく天にあります。そして真の平和は、救い主イエス・キリストを心に持つ人々にあるのです。なぜなら、生まれた「幼子はイエス(罪から救う)と名付けられた。」(：21)ように、必ず、罪の暗闇に勝利させて下さり、真の平安を与えてくださるからです。平安な心だけが、真の平和を築きます。

このような時代に、聖書を通して、今までの生き方と違う、心の世界のあることを知って、救い主イエス様を受け入れる人が多く起こされることを願います。

マリア会土曜交わり会

秋保 寛子

全地よ、主に向かつて喜びの叫びをあげよ。喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。知れ、主こそ神である。主はわたしたちを造られた。わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。感謝の歌をうたって主の門に進み、賛美の歌をうたって主の庭に入れ。感謝をささげ、御名をたたえよ。主は恵み深く、慈しみはとこしえに、主の真実

詩編一〇〇篇

は代々に及ぶ。
2017年9月9日(土)、マリア会主催の土曜交わり会が開かれました。今年には私と娘が所属するサニーサイド・ゴスペルクラブ横浜の皆さんを招待し、ゴスペルコンサートを行いました。今年5月から企画を開始し、7月からクラブのメンバーに出演者の募集を呼び掛けていました。当初、なかなか参加人数が集まらず、日にちが迫ってくることに不安な気持ちも出てきました。しかし、神様は私たちの祈りをしっかりと聞いてくださり、当日は、32名の出演参加がありました。感謝いたします。10時30分からの開会礼拝では、安藤牧師による詩編一〇〇篇のメッセージをいただき、主の祈りの後、コンサートが開かれました。続いて

12時から14時まで、昼食・交わりの時を持ち、メンバー一人一人に「ニックネームと名前(本名)」と「ゴスペルを始めたいきっかけについて」自己紹介いただきました。「ゴスペルの歌詞が好きだから」「ゴスペルを歌うと元気になるから」「カトリック系の学校に通っており、讚美をするのが好きだったから」といった様々なお話を伺うことができました。私が個人的に印象に残ったのは、「昔、アメリカに住んでいたことがあった。アメリカではゴスペルのスペル専門チャンネルTVがあり、そこで聴いたゴスペルの歌詞が好きだった。そのあと、子供が大きくなり手が離れ、夫婦で何か始めようと思った時、ゴスペルがやりたいと思った。実際に始めてみた時『ああ、これが私のやりたかったことだったのだと感じた。』というお話でした。――全地よ、主に向かつて喜びの叫びをあげよ。喜び祝い、主に仕え 喜び歌って御前に進み出よ――安藤牧師のメッセージを通じて、主は一人一人を招かれていることを確信しました。最後に、当日披露した「My Little Love」

「My Little Love」(カーク・フランクリン)の歌詞をご紹介します。これは、メンバー全員の愛唱歌といってもいいくらい、好まれている歌です。どうか

この歌を心の底から讚美できるゴスペルクラブとなれますように。

私の手は あなたを礼拝するために作られたもの 私の心臓は主であるあなたのために鼓動します 神の子羊それはまことあなたにゆだねます 私の人生私の愛すべてを捧げます あなたの手 あなたの口づけ あなたの恵みその深さは私の魂の理解を超えるほどです 私の生きる目的は変わりました あなたが私の名前を呼んでくださったときから あなたに触れられたとき私の過去は消し去られました 暗い雲も雨も痛みも変えられませんでした あなたの血が私を新しくつくり変えてくださったから 神の子羊それはまこと あなたにゆだねます 私の人生 私の愛すべてを捧げます この世の終わりが来てあなたと過ごす楽園が始まるとき 「よくやった」とあなたは言うてくださいるだろう あなたにお会いできる時に



敬老祝福を受けて

関原 紀子

9月17日(日)敬老祝福式、お祝会が計画され、対象者21名のひとりとして参加させて頂きました。「主と共に歩む」の讚美で始まり、おいしいお食事、各会からのお祝いの言葉を頂き、楽しい時を過ごすことができました。JCの子供さん達による飾付け、男性のすばらしい歌声、マリア会による趣向を凝らしたサイコロころがしと、時のたつのを忘れませんでした。会が開かれます前には、わかえりだ会、カレブの会、マリア会の役員さん方が、話し合いを重ね、準備して下さった事と、思い、心より感謝いたしております。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたを選んだ」(ヨハネ十五:16)小さい頃より弱い私も、この年齢まで導かれ、守られてくることができました。これから先も、主の御腕に守られ過ごすことができ、歩みたく思います。



敬老祝福を受けて

田崎 郁代

敬老祝福式と敬老祝会をしていただき、そして初めて敬老の中に加えていただき、ありがとうございました。お祝に美味しい紅茶やカップを頂き有難うございました。今まで、皆様のお祈りのおかげで守られてきました。そして主人、唯一、信義の家族、哀もそれぞれの処で守られていますことを感謝いたします。

最近、唯一と車椅子で海老名に映画を見に行ったのですが、哀から横浜駅のヨドバシカメラの所で倒れたという電話が入りました。一人で帰るように言ったのですが、帰れないというので、大変困りました。「神様どうしたら良いのでしょうか」と心の中で叫びました。結局、映画は見れずに、唯一に我慢してもらい、旭区のグループホームへ送りました。職員の来られるまで、雨の中、玄関先で待ち唯一をあずけた後、急いで横浜駅に行き、横浜銀行に居た哀を見つけタクシーで家に帰りました。哀が守られて、感謝致しました。

防災訓練報告

防災係 坂本 浩

9月24日の礼拝後、磯子消防署の方に来ていただき、防災訓練を実施しました。今回は、昨年購入したAED(自動体外式除細動器)の使い方を含めた、救急救命の実地訓練を行いました。

署員の方の説明で印象に残ったことは、AEDは心臓がけいれんした状態で使用するもので、完全に停止してしまつた状態では、使用できないとのこと。まずは安全確保と要援護者の状態確認。そして救急要請、心臓マッサージを行うなど、早い段階で適切な処置を行うことで、救命率もあがるとのこと。心停止状態では使えないのかと、参加者一同「へ〜」という感じでしたが、認識を改めることが出来ました。

一昨年、同様の訓練を行ったことがきっかけで、教会にAEDを備え付けました。いざという緊急時に誰でも使えるよう、今後も定期的に訓練を行えたらと考えています。



二〇一七年あなたに贈る
聖書のメッセージ*特別集会

藤井圭子先生をお迎えして

安藤 善枝

私が藤井先生と初めてお会いしたのは、昨年のこころの友伝道全国大会 in 神戸の時でした。そこで話された先生のお証しに衝撃を受けて、是非、岡村教会に来てお話しして頂きたいと思い、お招きしました次第です。先生とお話ししましたら、先生は以前から私が描いた「華のかおり」の絵ハガキを気に入って、使って下さっておりました。

本当に感謝しました。更に多くの方々に先生のお証しを聞いて頂き、イエス様を信じる方が起こされるようにと願っています。



藤井圭子先生の講演抜粋

「確かな希望に生かされて」



10代の頃、隣のお婆

様が亡くなられた事がきっかけに、人生の虚しさを感じました。そして、確かなもの、絶対なもの、永遠なるもの、即ち神を求めるようになりました。当時、仏教的な環境に置かれていたので仏教の中にその解決を求めたのです。それから医学と仏教を学ぶ生活が続きましたが、何もわかってきません。これは修養がないからだと思ひ、医師になつていたが止めて、仏門に入り修行に励む決心をしました。そして修行僧と一緒に修行に励みました。加行(僧侶の資格が得られる)終え、その後尼僧道場の舎監・教師となりました。しかし数か月後、言いようのない不安、虚しさ

に襲われ、自分の求めていたものは何もないことに気が付き愕然としました。修行すればするほど、永遠の救いから遠くという感じでした。そして釈迦は偉大な方ではあるが永遠の神ではないことに

思い至り、人間が到達する最高のものにはあるが、真理ではなく、心と頭が生み出した観念であつて永遠なもの、絶対なもの、聖なるものではない事を知りました。このように、失意の底からどのようにイエス様に救われたかをお話しする前にいつも心の底から感謝を込めて告白することは、「神はまことにいきておられます。主イエスは生きておられます」ということです。

失意の底から還俗し、小児科医に復帰その後結婚し、二人の子供に恵まれた中、新しく移り住んだ所の隣に、キリスト教の教会が建てられ、その献堂式に野次馬根性で出席しました。仏教で得られなかった寂しさを、時々感じていたので、何か得られるのではないかという思いもあつたかもしれません。さらに1年後バイブル・クラスや礼拝にも出席するようになりしました。こうしてキリスト教を眺めていた状態の私を、その1年後、神様は私の足の骨折を通して、夫婦の状態がいかに思いやりのない間柄であるかという事を、明らかにして下さいました。自分勝手な夫に絶望し、離婚を考え実家に帰りました。両親も賛成してくれましたが、

思い悩みました。その頃の私はまだ神様がいてくださることは知りませんでした。が、祈り続けました。でも神様からは答えは貰えませんでした。自分は悪くないという思いばかりが強かったようです。そして、子供の事等あれこれ考え結局離婚を断念しました。本心は夫の介護に行きたくないという思いに悩み焦り、偽善の罪の泥沼に落ち込みました。そんな時、教会の三周年記念特別伝道集会があり、不思議な御手をもって導かれました。講師の先生が神から全き平安を与えられたお証をされました。それを聞いているうちに、私もあの先生のように、イエス様を信じて平安を得られるのなら、イエス様を信じたいという思いで、魂が底から揺さぶられました。先生の終わりの祈りの中で、「今夜この中でイエス様を信じたかと思っている方は手を挙げて下さい」のお勧めがありました。仏門に入る時、家族に死ぬほどの苦しみを与えた事等色々思いあぐね、自分の心配を固く握りしめ、面倒な事にならない選択を選んで、神様の招きに手を差し出さず座っていました。でも牧師が傍に来られた時、手を挙げていたのです。これは聖霊様がそう

させて下さったとしか思えない出来事でした。次の日、夫の病院に行く時、一度も嫌だなど思っていないことに気がつきました。あれほど努力しても変えられなかった気持ち、捨てられなかった心が、一夜のうちに完全に無くなっているのです。何の努力も修行もせずです。得もいわれぬ平安を与えられました。暖かい、柔らかい、静かな平安でした。「求めよ、さらば与えられん」という少女の頃から耳にしていたことばを実感しました。私の心からの願い、叫びに答え、助け出して下さった喜びに涙がとまりませんでした。私は今まで神様を自分のレベルに引き下げ、神様のこと、聖書の御言葉を否定ばかりしてきましたが、神様は、私がいかに努力しても変えることが出来なかつた心を、一夜のうちに変えることが出来るお方なのだと知らされました。真っ暗闇で滅びを待っただけの私の心の中にも、神様は「光があれば」と光を差し入れて下さり、私を暗闇から光へ、滅びから命に移し変えて下さったのです。まだ神様の事もよく分かったわけでもなく、聖書を知り尽くしたわけでもないのですが、イエス様は私を受け止めてくださり、「私

はここに在る」という存在を示してくださいました。「わたしが道であり、いのちなのです。」(ヨハネ十四・6)との御言葉に、私が若き日、尼僧となって探し求めていた道、永遠の命、求めていた道がイエス様の中にあつたことを示されたのです。



私と讃美歌

井上 義勝

2000年の4月、妻と二人で横浜岡村教会の礼拝に初めて出席しました。礼拝の中で讃美歌が何曲も歌われていました。初めて聴く讃美歌は、とても心穏やかな気持ちになり、癒されたことを覚えています。それまでは讃美歌というと、聖歌隊が歌い、そのほかの人は聴くものと思っていました。しかしそうではなく、礼拝に出席している人達が喜びをもって、主なる神を誉め称え、主の恵みに感謝し、讚美しているのだと思ひ、信仰を感じました。そして、その年のクリスマスに受洗したのです。それから一年ぐらいたったころ、聖歌隊に誘われて入りました。パートはバスの担当になりましたが、音域が狭く、合わせる事ができなかつたので、聖歌隊として歌うことを諦めました。とはいえ、信仰の表現である讃美歌は歌って行きたいと思ひました。今も出来る限り奏楽に合わせて歌っています。好きで口ずさむことができる曲は、「慈しき深き」「ガリラヤの風かおる丘で」「人生の海の嵐に」などがあります。これか

らも、信仰を励ます讃美歌を歌って行きたいと思ひます。

早園 貞子

私の家は、山の中腹に建っています。住み始めて50年過ぎました。若かった頃は、両手に荷物を持って上り下り出来ましたが高齢になって、70段の階段と坂道は少々きつくなりました。しかし、祈って与えられた所なので、離れたくありません。晴天の日、登り切って眺める景色は、千葉の方まで見えて、心が安らぎます。近頃は上り下りする時歌います。新聖歌355番「主と共に歩むその楽しさよ 主の踏み給いし御跡をたどる ひと足ひと足 主にすがりて 絶えず絶えず われは進まん」時には、神様は助け人を送ってくださいます。荷物持ちましょう。階段の上に置いておきますから、ゆっくり登っていらつしやい。或は、お宅を知っていますから、玄関の所に置いておきますからね。また、小学5年生位の女の子がわざわざ降りて来て持ってくれたり・・・ 私は助け人に感謝しながら、手摺につかまって、一足一足と賛美しながら日々を送っております。感謝

召天者記念礼拝

井上 鈴枝

私にとって、召天者記念礼拝は特別な想いを持って、いつも出席しております。それは、2011年12月28日に、何年も介護の世話をしていた同居の義父が召されました。認知症を患っていた義父が、召される一年前のクリスマスに、自ら罪を告白しイエス様を受け入れ、洗礼を受けたのです。葬儀は年末の29日、30日に行われました。忙しい中にも関わらず、多くの方々が葬儀に参列して下さい、義父の故郷山形からも、弟さん妹さん達が駆けつけ参列してくれました。初めてのキリスト教式葬儀に、興奮気味の義父の妹さん達は、「兄の顔のシミが無くなり、綺麗な顔にお花がいっぱいで、まるで結婚式のようなね」と、お話しされていたのを思い出します。翌年の9月22日に行われた義父の納骨式では、10年前に召されたお墓に埋葬されていた義母の納骨も一緒に、岡村教会の共同墓地に納めることが出来ました。これまでの主の導きに感謝いたします。今年も兄弟姉妹と共に、召天者を偲ぶ事が出来ました事を、心より感謝いたします。

「こども祝福式に参加して

田崎 信義

物心ついたときには通っていた横浜岡村教会のこども祝福式に、自分のこども達に参加するというのは、感慨深いものがあります。子供達はなかなかじつとしていられませんが、安藤牧師から頭を当てて頂いた際には「びたっ」と静かになりました。これも祈りの力なのかと感じました。こども達も健康で元気に育っています。忙しさに追われる日々ですが、感謝の気持ちを忘れず、子供たちに全力で向き合っていかななくてはと、改めて思いました。

横浜岡村教会には、年に数回しか来る事が出来ませんが、来るたびに温かく迎えて下さり、家に帰って来たような気持ちになります。田崎家は、母や妹は勿論のこと、兄や氷取沢に入所している父、そして私達の事まで想い、祈って下さっている事に本当に感謝しています。今後も沢山のご迷惑をお掛けすると思いますが、末永くよろしくお願いします。



ゆうとくんと
ゆらんちゃん



聖(せい)らちゃん

子供祝福式を終えて

石川 愛

先日、子供祝福式を迎えて、娘の聖が産まれてからの事を思い返していました。早いもので、もう半年が経ちました。

聖は産まれてすぐに、眼が不自由だとわかり、話を初めて聞いたときは絶望しました。何故、うちの子がと、神様に嘆きました。しかし、初めはまったく見えないだろうと言われた聖も、専門の先生に診てもらった所、立って歩いてご飯が食べられる程度には見えるようになるだろうと言われ、とても安堵した事を覚えています。しかし、人間は本当に欲深いなど思いました。どうしても、他の子と比べてしまう事があります。他の子は当たり前のように見えて、いろいろな物に積極的に手を伸ばしています。その光景を見て、まだ色の濃いオモチャを目で追う程度の聖と比べて、不安な気持ちになっってしまったのです。しかし、神様から与えられる賜物は人それぞれ違います。聖も、私たち家族も、神様から一番素敵な賜物を授かっています。神様のご計画の中で、私たちに授けられた命です。神様に守られ支えられているという確信を持って、感謝し祈りながら聖の健やかな成長を見守りたいと思います。

2018年

安藤華舟 華のしらべカレンダー

好評発売中！ 1部 800円



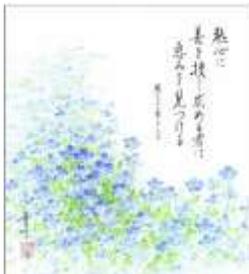
教会に注文しますと、消費税はつきません。お早めどうぞ！



家の門を入って玄関までに植えられたさざんかの花。亡き父がこよなく愛した花。随分背が高くなりました。



友達と早稲田に行った時、しだれ桃を発見！咲くのは4月頃と聞いてまた出かけて、ゆっくり描きました。



つくば市に住むようになり、ひたち海浜公園の広大な丘に咲くネモフィラを見ました。圧巻でした。



JCの窓 (ジュニアチャーチ)

JC出席表

安藤 善枝

JCの礼拝が終わり
ますと、子供達は元気よ
く階下に降り、出席表の

所に行つて自分の所に出席のシールを貼
ります。

出欠は1年間の表になっていますので、
今、誰が来て、誰が欠席しているかは、
すぐにわかります。スタッフは、それを
チェックして、自分のJCノートにもし
っかり出欠をつけます。続けてきていな
い子には、又便りを出して、来るように
促します。

12~2月 行事予定

12月

- 3日 アドベント第1礼拝
(讚美・今給黎姉坂本兄)
DVD鑑賞会 ツリー点灯式
- 10日 アドベント第2礼拝(讚美・秋保家)
- 17日 アドベント第3礼拝(讚美・安藤家)
クリスマス祝会
- 20日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 24日 クリスマス礼拝(ハレルヤ合唱)
JCクリスマス祝会
クリスマスイヴ・燭火礼拝
- 25日 横浜ろばの店クリスマス
- 26日 ギデオン協会クリスマス

1月

- 1日 元旦礼拝
- 14日 成人者祝福式
- 15日~16日 マケドニア会(熱海)
- 27日 牧師家族会

2月

- 10日 三教会婦人交流会(清水ヶ丘教会)
- 11日 オープン礼拝
信徒研修会
- 13日 三教会交流委員会(清水ヶ丘教会)
- 18日 三教会交流講壇交換
三教会子ども交流会(清水ヶ丘教会)
- 25日 臨時教会総会

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)

(毎月第4主日 各会の定例会)



みな自分の所に
シールを貼ります。

毎月第一主日に誕生会を行つていま
すが、月別の誕生一覧表も掲げ、子供たち
の顔を思い浮かべながら確認しています。
JCは、礼拝と分級あわせて1時間ほど
ですが、子供達との交わりを大切にして
いきたいと願っています。

集会案内

◎ クリスマス礼拝
日時 12月24日 AM 10:30

◎ イヴ・燭火礼拝
日時 12月24日 PM 4:00

◎ 元旦礼拝
日時 1月1日 AM 10:30

◎ オープン礼拝
日時 2月11日 AM 10:30

編集後記

さわやかな秋も束の間、初冬と思える
寒さの中、超大型台風の影響、気候変動
が当たり前の今。お一人お一人の健康が
守られますように。「2017秋の特別伝
道集会」、参加人数ではない、救われる一
人の為に、確かに福音の種はまかれた。
今、私自身がキリストの愛に生かされて
いるか、日々感謝しているか試される時
でした。3日からアドベント。クリスマ
スには全ての人たちと共に、ご降誕を喜
び祝います。
(T・M)

